

2026年

4月30日(木)

19:00~20:00

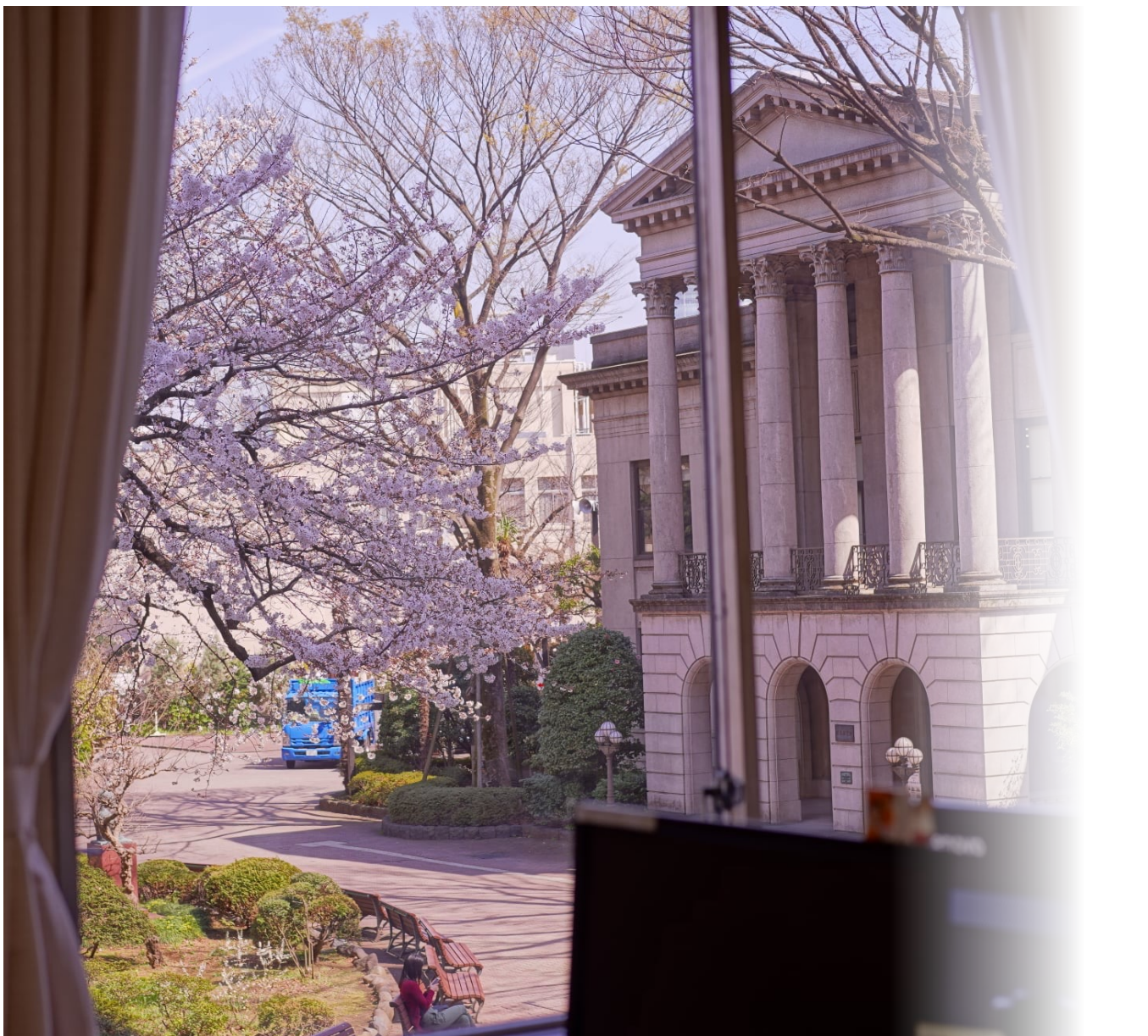
Zoomオンライン開催

参加無料

DX時代の
主役は、
情報システム
アーキテクト。

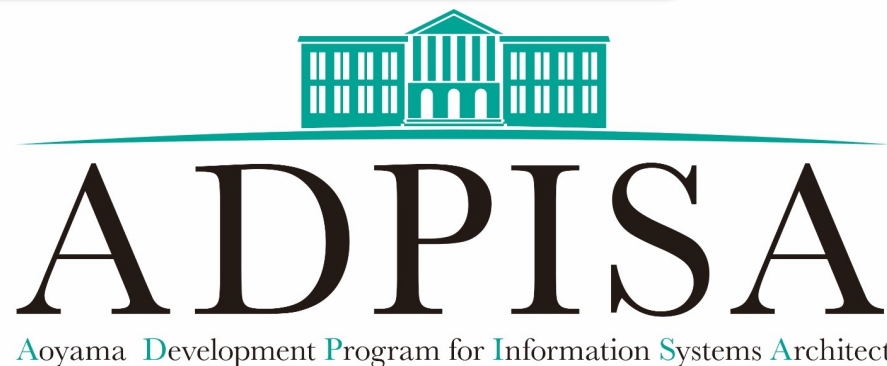
2026年度ADPISA説明会





ADPISA (アドピサ) とは？

青山学院大学のDX人材育成プログラム



青山学院大学 社会情報学部 が提供する
青山・情報システムアーキテクト育成プログラムです

Aoyama Development Program for Information Systems Architect

「アドピサ」と呼んでください

ADPISA説明会アジェンダ

- ADPISAはなにを目指しているのか
- ADPISAの概要
- ADPISA-Aの概要
- ADPISA-Eの概要
- 修了生の声
- 質疑応答

ADPISAはなにを目指しているのか



宮川裕之：青山学院大学 名誉教授、社会情報学部 客員教授、ADPISA主宰

<https://youtu.be/3BPTI-30N-U>

2026年度のADPISA

2026年4月30日

青山学院大学 社会情報学部

居駒 幹夫



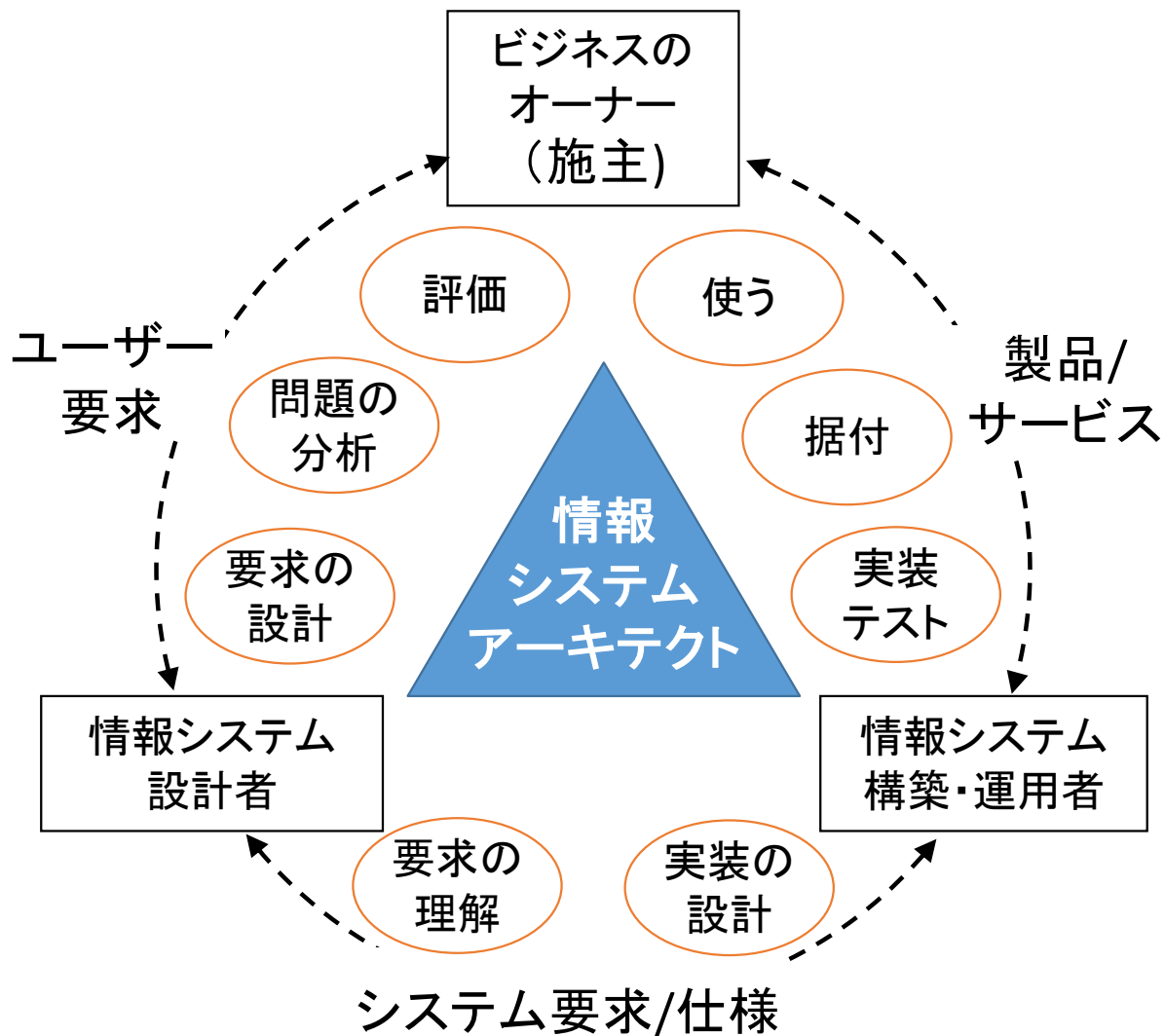
ADPISAとは

AI時代の主役
ISアーキテクト
への成長を
お手伝いします

ADPISAとは

青山・情報システムアーキテクト
育成プログラム

Aoyama Development Program for
Information Systems Architect

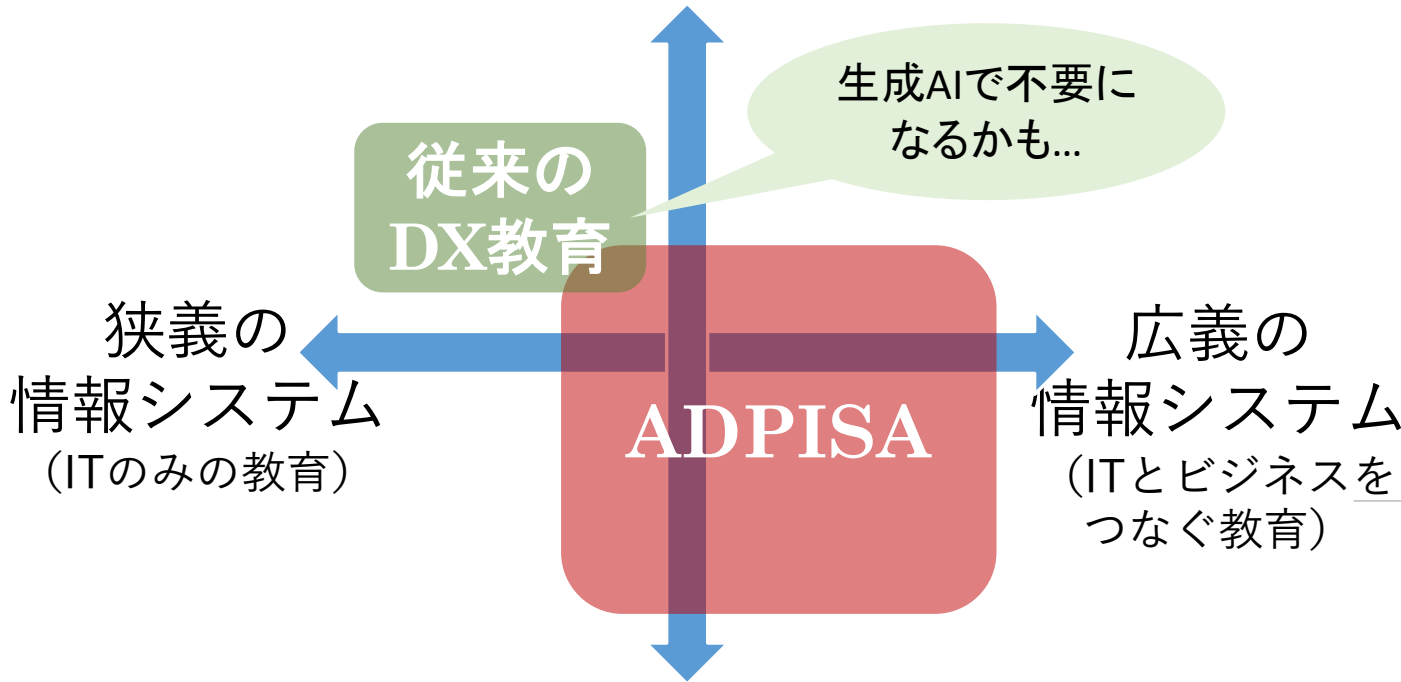


情報システム(IS)アーキテクトとは

- 「言われたものをIT技術を使って構築する」というITアーキテクトではなく、「ビジネスの現場を知り、何を作ればよいかを一緒に考える」という姿勢を重視し、それを推し進める専門人材
- IT現場における「施主不在の問題」を解決する人材

フロー型の知識・スキル

(現在必要な知識、スキルをピンポイントに)



生成AIで不要になるかも...

従来のDX教育

狭義の情報システム
(ITのみの教育)

ADPISA

広義の情報システム
(ITとビジネスをつなぐ教育)

ADPISAの特長(1) 大学ならではの教育

- IT教育とビジネス教育を別々にせず「ITとビジネスを繋ぐ」教育
- 履修証明プログラムとして「体系的な教育」メニュー

蓄積型の知識・スキル
(応用の利く基礎知識、スキルを包括的に)

参考：デジタルスキル標準とのマッピング

- 2026年4月に経産省、IPAからDX対応のスキル標準2.0(DSS2.0)が発表
- ADPISAのISアーキテクトに最も近い人材類型は**ビジネスアーキテクト**。
この類型でのDSS2.0のスキル項目が、ADPISAの科目とどのように対応しているかをマッピング → 全体をカバーしていることを検証

DSS2.0 スキル項目			DSS2.0 ロール			ADPISA-A科目												
カテゴリ	サブカテゴリ	スキル項目	ビジネスアーキテクト	ビジネスアナリスト	プロダクトマネージャー	情報システム学入門	実践研究	情報システムアナリシス	ビジネスを推進するためのプロジェクトマネジメント	価値を実現するためのプロジェクトマネジメント	セキニアな企業と情報システム	インテントAIで変化したしながら価値を創造する情報システム	情報×経営による価値創造デザイン	ビジネス・モデリング/データ・モデリング	デザインシナリオ入門	生成AIで変わる情報システム	選択科目群 (Udemy)	
	戦略の理解とアーキテクチャ設計	ビジネス環境と経営戦略の理解	a	a	a	○		○					○					
		事業戦略の策定とマネジメント	a	b	b	○		○						○				
		変革テーマ/事業単位の組織成熟度・ケイバビリティの検討	a	b	b	○		○						○	○			
		ビジネスとエンタープライズのアーキテクチャ設計	a	b	c	○		○						○	○			
		ビジネス価値定義/投資対効果の試算と意思決定支援	a	b	b	○		○						○	○			
	プロダクトのマネジメント	要求の分析とマネジメント	b	a	b		○	○	○									
		プロダクトビジョン/ロードマップ策定	b	a	a		○		○									
		プロダクト成果指標の設計と運用	b	a	a		○		○									
		プロダクトスコープと優先順位のマネジメント	b	a	a		○		○									
		仮説検証・学習サイクル設計	b	a	a		○		○									
		マーケティング	c	b	a		○							○				
技術的制約・アーキテクチャを踏まえたプロダクト	b	a	a		○			○										



**Brush up Program
for professional**

ADPISAの特長(2) 教育訓練給付金対象

- ADPISAのプログラムは
文部科学省の「職業実践力育成
プログラムに認定済み
- 厚生労働省の教育訓練給付金
対象の教育プログラム(特定一
般教育訓練給付金、専門実践
教育訓練給付金)に認定
- 個人受講修了者には最大80%
の給付金



2026年度の ADPISA

2026年度ADPISA概要

- 教育プログラム
- 教育実施方針
- 企業連携
 - 文科省事業と連携した企業連携の強化

2026年度ADPISAのプログラム構成

- ADPISA-MとADPISA-Hを統合し「**ADPISA-A アーキテクト履修モデル**」へ
- 企業の課題に即したカスタマイズした履修モデルも

	2025	2026	説明
1	ADPISA-H	ADPISA-A	IT職向け(ADPISA-M), 高度ISアーキテクト育成(ADPISA-H)を統合。科目選択の幅を広げ受講者ニーズに対応
2	ADPISA-M		
3	ADPISA-E	ADPISA-E	ITとともにDXの基礎を学ぶ履修モデル（「ADPISA-Eエントリー履修モデル」）
4	ADPISA-Z	ADPISA-Z	ADPISA-A相当の知識・スキルを全面オンライン+短期集中で学ぶ履修モデル。年度末に実施を検討中。
5	(なし)	企業向け履修証明モデル	企業にカスタマイズした60時間履修証明プログラム。日産自動車殿で実施。他企業向けにも実施予定

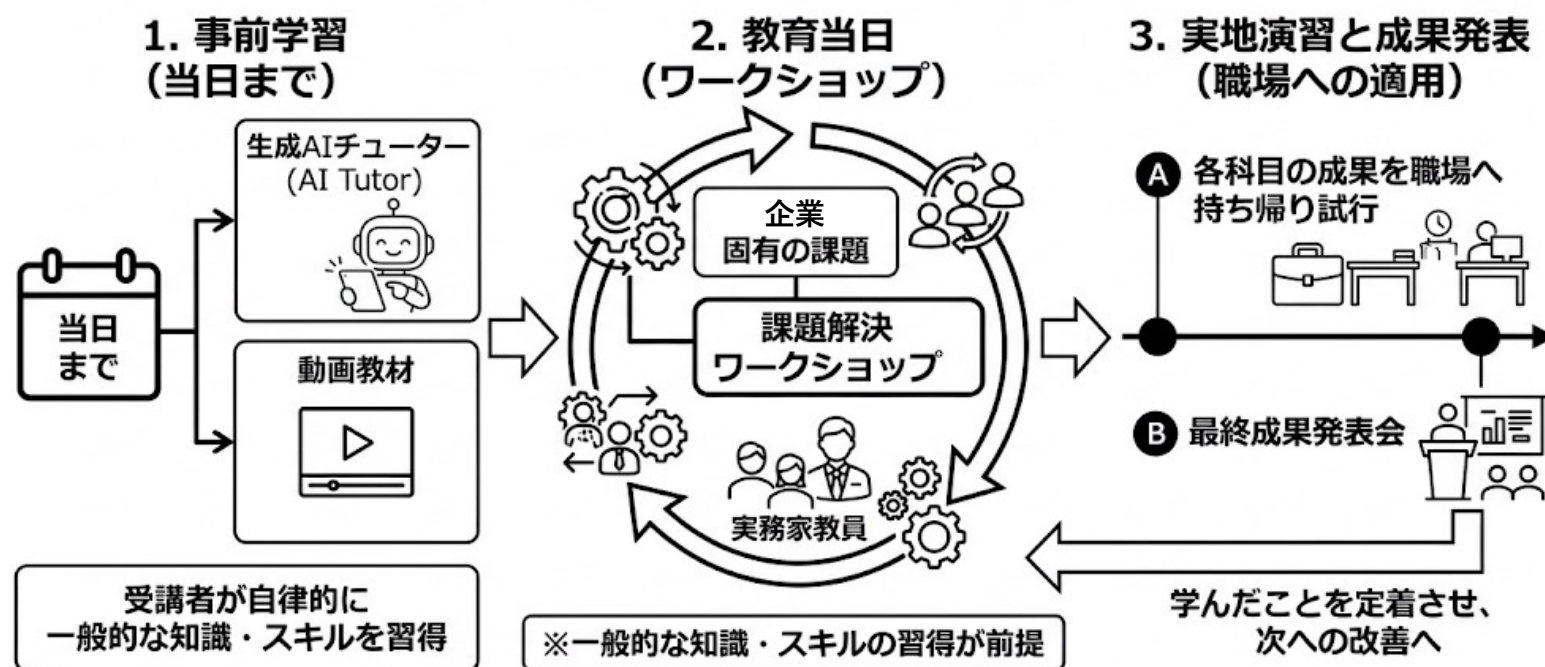
2026年度ADPISA開催スケジュール

年	2026（令和8年）											2027年		
月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
ADPISA A			受講生 募集						プログラム実施 7月～11月					
ADPISA E					受講生 募集					プログラム実施 9月～1月				
ADPISA Z										受講生 募集		プログラム実施 1月～3月		
企業 連携		随時実施												
						日産殿向け履修証明 プログラム8月～11月								

事前学習の強化 考え方

□ 反転授業の導入

- 生成AIや動画教材を活用した事前の一般的な知識・スキル習得
- 教育当日はワークショップ形式での受講生固有の課題解決を主



事前学習の強化 タイプ毎のスケジュール例

□ 昨年度までの時間割

年月日	学習時間	場所	科目名	担当教員
2026/7/11	9:20 - 18:10	青山キャンパス	情報システム学入門 (1日目)	宮川
2026/7/18	9:20 - 18:10	青山キャンパス	情報システム学入門 (2日目)	宮川

□ グループワーク中心科目の場合 (場所は、キャンパス/オンライン)

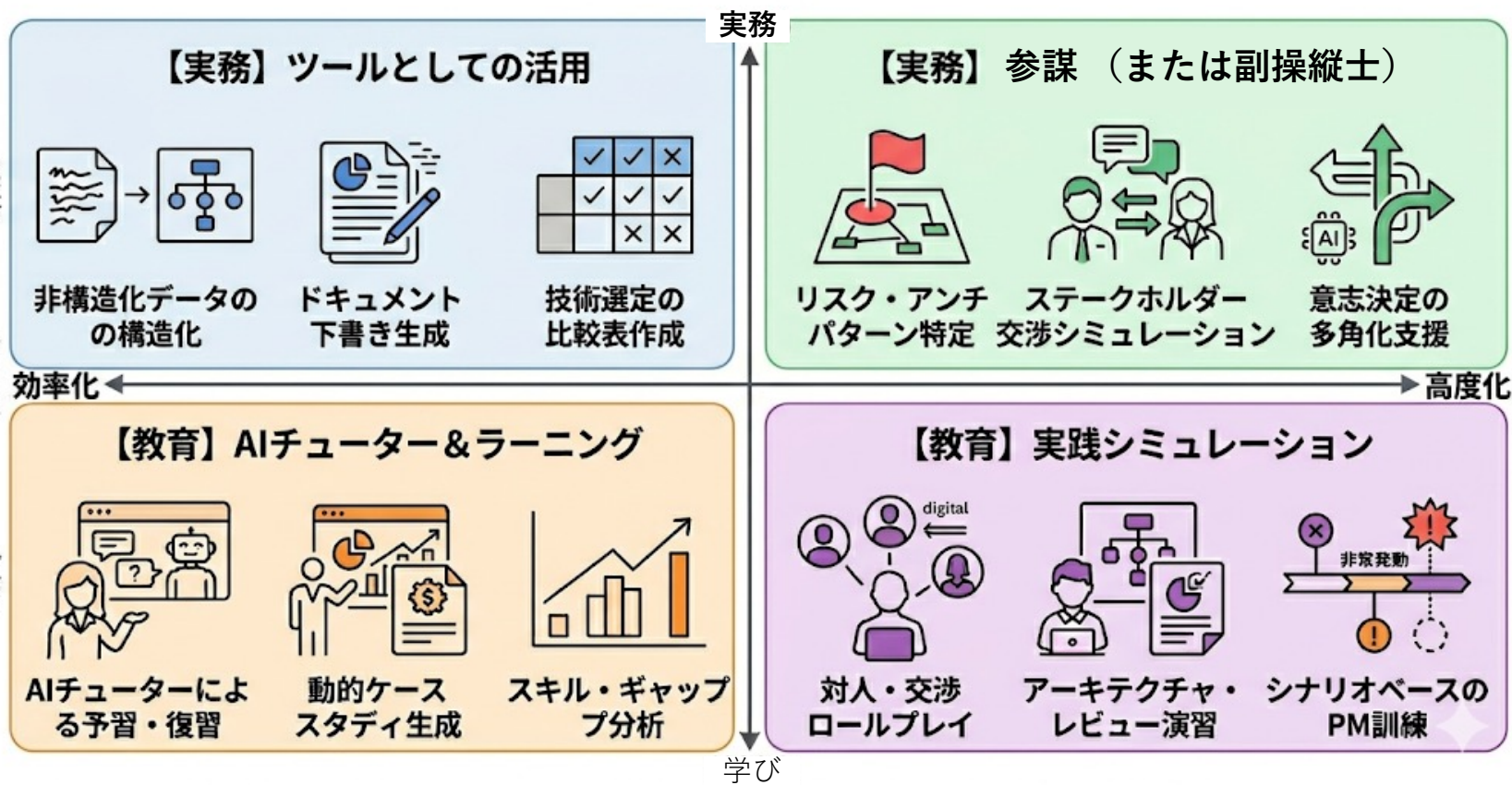
年月日	学習時間	場所	科目名	担当教員
~7/11	(1.5時間)	—	指定した動画コンテンツの視聴	
2026/7/11	10:00 - 17:30	青山キャンパス	情報システム学入門 (1日目)	宮川
~7/18	(1.5時間)	—	AIチューターによる学習	
2026/7/18	10:00 - 17:30	青山キャンパス	情報システム学入門 (2日目)	宮川

□ 講義中心科目の場合

年月日	学習時間	場所	科目名	担当教員
~7/18	(6時間)	—	AIチューターによる学習	
2026/7/18	10:00 - 17:30	青山キャンパス	情報システム学入門 (1日目)	宮川

全科目で生成AIを活用

- ISアーキテクトとしての活用と、学びのツールとしての活用
- 効率化ツールだけでなく、ISアーキテクトの参謀としての高度な活用



企業向けADPISA方針

□ 業務上学習者への教育拡大

- キャンパスで実施しているADPISAは現状、個人の意思で応募する「自発的受講者」が8割
- 育成が必要な人材の多くは企業内の「業務上学習者」
→文科省事業「産学連携リ・スキリング・エコシステム構築事業」に応募し、日産自動車殿等と連携

□ ADPISAの教育コンテンツの有効活用

- 300時間以上のDX人材育成関連の教育コンテンツ保有。
→多くの企業で視聴してもらう方向で検討中

2026年度のADPISA-A

2026年4月30日

青山学院大学 社会情報学部
居駒 幹夫

2026年度ADPISA-A募集要項（抜粋）

定員	30名（応募資料により選考予定）		
応募資格	大学卒業者、またはそれに相当する者。情報システムに関する実務経験を持つ者。		
総授業時間数	187.5時間		
開講期間	2026年7月11日～2026年11月30日 (その他、キックオフを7月4日、修了式を12月12日に開催予定)		
受講方法	対面およびオンライン。対面講義は主に青山学院大学青山キャンパス。一部、他の渋谷駅近辺にて実施。		
受講料	120h履修証明(BP)対応:	400,000円	訓練給付金で最大80%還元できます
	60h履修証明(SBP)対応:	240,000円	訓練給付金で最大50%還元できます
	単科受講:	60,000円/1科目	ADPISA卒業生割あり
取得可能な資格	公式な履歴書に履歴として記述可能な青山学院大学が発行する履修証明書		
募集受付期間	2026年4月30日～2026年5月31日 予定		

2026年度ADPISA-Aの開講予定科目

ID	種別	科目名	学習時間	授業	担当教員
101	必修	情報システム学入門	15.0H	対面	宮川
102	必修	情報システムアーキテクト実践研究	15.0H	未定	宮川, 庄司, 居駒
103	必修	チェンジを推進するビジネスアナリシス	15.0H	未定	庄司
202	必修	価値を実現するためのプロジェクトマネジメント	22.5H	未定	初田
151	選択	セキュアな企業と情報システム	15.0H	未定	平川
158	選択	インテントAIで変化しながら価値を創造する 情報システム <i>New!</i>	15.0H	未定	松永エリック
251	選択	情報×経営による価値創造デザイン	22.5H	未定	宮川, 皆木
252	選択	ビジネス・モデリング (プロセス・モデリング/ データ・モデリング)	15.0H	未定	三輪
254	選択	デザインシンキング入門	15.0H	未定	鈴木
257	選択	生成AIで変わる情報システム	7.5H	未定	宮川, 寺尾, 村田, 居駒, 弥生
198	選択	選択科目群 (Udemy)	30.0H	遠隔	Udemy活用

情報システム学入門

□ 概要

- 「ITを作る人」ではなく、“仕組み全体を再設計できる人”になるためのADPISA全科目の前提科目

□ 科目の特徴

- 分析だけで終わらず、「どう再設計するか」まで考える
- 技術だけでなく、制度・文化・意思決定まで含めて設計対象
- 「誰のために、何のために設計するのか（施主の意図）」を重視



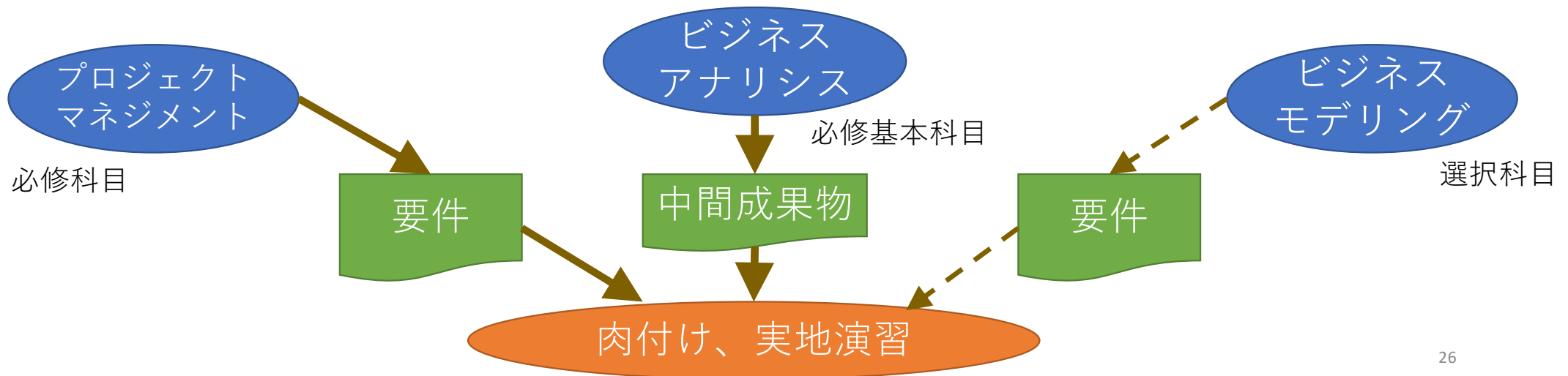
価値を実現するためのプロジェクトマネジメント

- モダン・プロジェクトマネジメントの知識体系をベースにして、プロジェクトマネジメントの基礎からプログラムマネジメントまでを体系的に学ぶ
- プロマネ系科目で学べること
 - DX系プロジェクト特有のマネジメントの基礎
 - 価値を実現するためのプロジェクトマネジメント
 - 情報システムのプログラムマネジメント



情報システムアーキテクト実践研究

- 座学は無く、実地演習で試行結果を最終日に発表
 - ビジネスアナリシス科目の発表内容を実践研究での発表のベースにする
 - 他の科目で修得したことを使って、肉付けする
 - この内容でADPISAの修了を判定する。



選択科目群（Udemy Business活用）

□ 背景

- 受講者それぞれの立ち位置、希望、能力もさまざま

□ 科目の内容

- 指定された時間数、Udemy Businessの科目を受講
- 受講者の希望を元に受講者個人個人に対応した「ラーニングパス」をテクニカルアドバイザーと共同で作成し、それに従って受講

□ 特徴

- ベネッセ社と連携し、「旬な講義」を特定・推奨
- 過去5年間のADPISA受講者の評価も参考にできる
- ADPISA終了後も、年度末までUdemy Business全講座が受講可能

インテントAIで変化しながら 価値を創造する情報システム

New!

- 効率化から「価値創造」へのパラダイムシフト
 - 情報システムを「業務効率化の道具」から、「人の意図を起点に価値を更新し続ける仕組み」へと捉え直します。
- 本科目の特色
 - インテントの再発見: 「人は何を望んでいるのか」という本質的な問いからシステムを再定義。
 - ハイブリッド思考: コンサル実務 × DX現場感 × アーティスト思考を融合した創造的構想。
 - 実践プロトタイピング: 自社課題を題材に、AI活用シナリオとシステム構想を具体化。
- 学習目標
 - 視座の獲得: 従来型DXと「インテントAI」の本質的な違いを理解し、説明できる。
 - 構想力: 潜在的な意図を読み取り、AIと共に価値を創るシステムを構想できる。
 - 実践資産: 明日から現場で提案・検証可能な「自社版システム構想案」を保有。



(おまけ) ポストADPISA-E科目

- ADPISA-E修了者におすすめの単科受講科目
 - 251 情報×経営による価値創造デザイン
 - 254 デザインシンキング入門
 - 151 セキュアな企業と情報システム
 - 257 生成AIで変わる情報システム
 - 158 インテントAIで変化しながら価値を創造する情報システム
- DX関連の業務を担当されるような場合は、履修証明プログラムとしてのADPISA受講をお勧めします

2026年度ADPISA-Aスケジュール (2026/4/30現在)

年月日	ID	種別	科目名	授業	担当教員
2026/07/04			キックオフ	対面	
2026/07/11	101	必修	情報システム学入門 (1日目)	対面	宮川
2026/07/18	101	必修	情報システム学入門 (2日目)	対面	宮川
2026/07/25	251	選択	情報×経営による価値創造デザイン (1日目)	対面	宮川, 皆木
2026/08/01	251	選択	情報×経営による価値創造デザイン (2日目)	対面	宮川, 皆木
2026/08/08	103	必修	チェンジを推進するビジネスアナリシス (1日目)	対面	庄司
2026/08/22	202	必修	価値を実現するプロジェクトマネジメント (1日目)	対面	初田
2026/08/15			(休日)		
2026/08/29	202	必修	価値を実現するプロジェクトマネジメント (2日目)	対面	初田
2026/09/05	202	必修	価値を実現するプロジェクトマネジメント (3日目)	対面	初田
2026/09/12	103	必修	チェンジを推進するビジネスアナリシス (2日目) + 中間発表	対面	庄司
2026/09/19	252	選択	ビジネスプロセス・データのモデリング (1日目)	対面	三輪
2026/09/26	252	選択	ビジネスプロセス・データのモデリング (2日目)	対面	三輪
2026/10/03	158	選択	インテントAIで変化しながら価値を創造する情報システム	対面	エリック
2026/10/17	151	選択	セキュアな企業と情報システム (1日目)	対面	平川
2026/10/24	151	選択	セキュアな企業と情報システム (2日目)	対面	平川
2026/10/10	251		(予備)		
2026/10/31	254	選択	デザインシンキング入門 (1日目)	遠隔	鈴木
2026/11/07	254	選択	デザインシンキング入門 (2日目)	遠隔	鈴木
2026/11/21	257	選択	生成AIで変わる情報システム	対面	宮川, 弥生, 他
2026/11/28	102	必修	情報システムアーキテクト実践研究 (発表会)	対面	宮川, 庄司, 居駒
2026/12/12			修了式	対面	
11/29まで	198	選択	選択科目群 (Udemy)	遠隔	Udemy活用

その他





2026年度 企業向けの ADPISA

企業向けADPISA方針

□ 業務上学習者への教育拡大

- キャンパスで実施しているADPISAは現状、個人の意思で応募する「自発的受講者」が8割
- 育成が必要な人材の多くは企業内の「業務上学習者」
→文科省事業「産学連携・スキリング・エコシステム構築事業」（次ページ）に応募し、日産自動車等と連携

□ ADPISAの教育コンテンツの有効活用

- 現時点で300時間以上のDX人材育成関連の教育コンテンツ保有
- 一部を除いてオンデマンドでの視聴はできていない

産学連携リ・スキリング・エコシステム構築事業

Reskilling Ecosystem For Revitalizing Economy and Sustainable Human capital (REFRESH)

令和7年度補正予算額（案）

22億円



背景

- 大学等によるリ・スキリングについては、骨太2024を踏まえ、「リカレント教育エコシステム構築支援事業」（令和6年度補正予算）を推進中。地方創生や産業成長のため、**骨太2025や新資本2025（産業人材育成プラン）**においても引き続きの求めあり。
- **地方創生等の観点**では、**地方の経営者**に加え、アドバンスト・エッセンシャルワーカー、就職氷河期世代等の幅広い労働者のリ・スキリングのニーズが指摘（新資本2025、地方創生2.0基本構想施策集、就職氷河期世代等支援に関する関係閣僚会議）。
- **産業成長の観点**では、産業構造審議会部会で示された**2040年に向けたシナリオ集**において、人口減少等の将来像を踏まえた、主要5ミッション、15の個別産業が提示。「リカレント教育による新時代の産学協働体制構築に向けた調査研究事業」では、大学等の優位性と企業ニーズが認められる12領域が提示。これらも踏まえ、生産性向上や労働移動の円滑化も見据えた、**戦略的な分野の選定**が必要。
- その他、**受講者の処遇改善、大学による収益化等**の推進も不可欠



解決策

- ① 地域のニーズや産業構造の変化の見通し等も踏まえた、**リ・スキリング・プログラムの戦略的拡充**
- ② 企業における**学びの成果の処遇反映**に向けた**仕組み構築**
- ③ 大学等における**収益化の推進**

事業内容

リ・スキリングプログラムの本格実施 企業からの投資を含む収益モデルの構築

- **大学におけるリ・スキリング講座の開発** 補助金18.6億円

メニュー	①地方創生	②産業成長
予算	4千万円×25カ所	4千万円×22カ所
補助対象	産学官金等の連携を行う地方自治体・大学等 【領域例】 GX, SCM, DX, 半導体、経営等	産学連携を行う大学等 【領域例】 GX, SCM, DX, 半導体、経営等

※協働体制構築経費、産学官連携コーディネーター等の人件費等

- **伴走支援等** 委託費3.6億円

- ・ 採択大学への伴走支援（企業等からの投資を含む収益化の推進等）
- ・ 企業のスキルセット構築
- ・ 「学び直し」が当たり前の社会を目指す広報等

重点的に実施する事項 公募の際、厳格に評価しメリハリ付け

- 現下の課題に選択的に対応

個人	<ul style="list-style-type: none"> ・ アドバンスト・エッセンシャルワーカー育成 ・ 就職氷河期世代支援 ・ 参加しやすいオンラインプログラム構築
企業	<ul style="list-style-type: none"> ・ スキルの可視化や正当な評価による処遇改善 ・ 産業構造審議会などで示される新たな人材需要への対応
大学	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全学的経営改革 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 教員のインセンティブ向上 ✓ 事務体制強化 ✓ 修士課程への接続等

- **企業からの投資を含む収益計画の確認**

目指す状態 産学官連携によるリ・スキリング・エコシステムの構築

個人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 働きながら学ぶ社会人の増加 ・ リ・スキリングによる処遇改善
企業	<ul style="list-style-type: none"> ・ リ・スキリングを積極的に活用し、輩出した人材が活躍
大学	<ul style="list-style-type: none"> ・ リ・スキリングプログラムの収益化、定着 ・ コーディネーター人材の育成、確保



KPI【地方創生】 累積 1,000人 ※令和7年度終了時

KPI【産業成長】 累積 3,000人 ※令和7年度終了時

累積 2,000人 ※令和8年度終了時

累積 3,000人 ※令和8年度終了時

累積 5,000人 ※令和11年度終了時

累積 15,000人 ※令和11年度終了時

経済財政運営と改革の基本方針2025

就職氷河期世代等支援に関する関係閣僚会議
「新たな就職氷河期世代等支援プログラムの基本的な枠組みについて」

・ 産学協働によるリ・スキリングプログラムについて、毎年約3,000人が修得できるよう、提供拠点・プログラムを拡充する。

・ 大学・専門学校において、就職氷河期世代等に対し、企業が受講者の処遇改善にコミットした講座や資格取得など処遇改善につながる講座を、働きながら受講しやすい週末・夜間等を含めて拡充

新しい 資本主義 実行基本計画 2025

・ 労働者のリ・スキリングによる最先端の知識・技能の修得（2029年まで毎年約3,000人以上）や、地方の経営者等の能力構築（2029年までに約5,000人）に向け、大学等が中心となり自治体や産業界等との協働による実践的な教育プログラムの開発を支援する。

・ アドバンスト・エッセンシャルワーカー（略）の育成や、AI等の技術トレンドを踏まえた幅広い労働者のリ・スキリング（略）を通じ、全国の津々浦々のそれぞれの地域で、労働者個人が、自らの意思に基づき、活躍できる環境を整備する。

企業・地域とADPISAの連携強化

- 2026年度は以下の3パターンで企業連携を推進
 - パターン1：ADPISAの連携企業内での実施
 - ADPISAの履修モデルまたは、その一部科目を就業時間内に実施
 - 就業日にADPISA講師を連携企業に派遣して実施するパターンを想定
 - パターン2：ADPISAプログラムの受講者を連携企業が派遣
 - ADPISA受講者として従業員を派遣
 - ADPISAプログラムの紹介を会社内に周知し、自発的学習者としてADPISAに参加（+会社からの補助）
 - パターン3：ADPISAコンテンツのみを特定企業に提供
 - ADPISAコンソーシアム加入によりADPISAの動画コンテンツを企業内で視聴可能にする予定（次ページ）

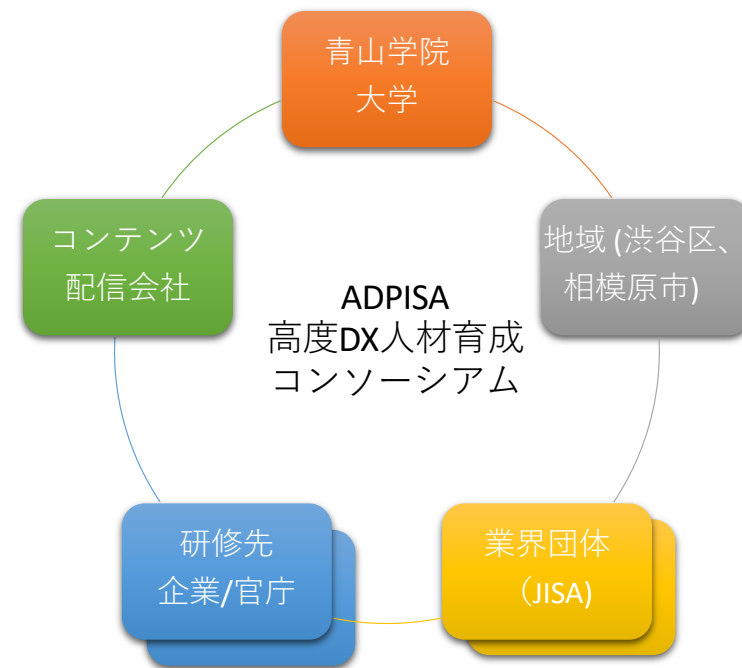
ADPISA 高度DX人材育成コンソーシアム概要

□ 概要

- DX教育に活用できるコンテンツ作成、コンテンツ配信、コンテンツ利用の地域・企業連携からなるコンソーシアム
- メンバは、地域（渋谷区、相模原市を想定）、コンテンツ配信会社、業界団体（JISAを想定）、企業、青学大

□ 会員が受けることができるサービス

- ADPISA 1科目1名/年に対する受講（お試しの位置付け）
- DX人材育成に教育コンテンツ（無料コンテンツ）の視聴
- 会員相互の交流の場の設定
- 企業内で実施を予定教育プログラムの相談の機会設定
- ADPISA情報提供、ADPISAを介した企業の広告等



[コンソーシアムのWebページ](#)

広義の情報システム

ビジネス組織、
社会

人間
(利害関係者)

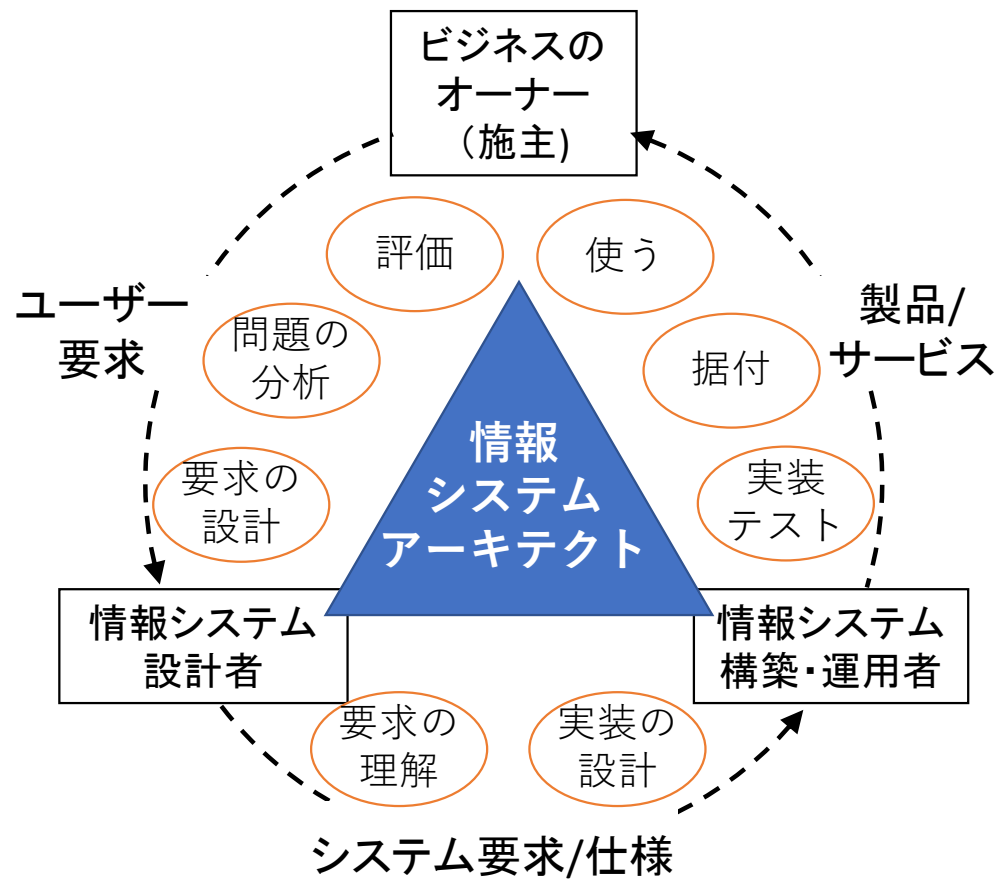
情報技術(IT)を
使ったシステム
(狭義の
情報システム)

ISアーキテクト:
組織、人の活動も
含めた広義の情報
システムを対象

ITアーキテクト:
狭義の情報シス
テムを対象

ISアーキテクトとは

- 「言われたものをIT技術を使って構築する」というITアーキテクトではなく、「ビジネスの現場を知り、何を作ればよいかを一緒に考える」という姿勢を重視し、それを推し進める専門人材
- DX推進スキル標準(DSS-P)のビジネスアーキテクトをより進めた人材



修了生の声 (ADPISA-A相当)

全体で良かったこと

https://youtu.be/y_ajaNVncnY



どこかの特定のライセンスとかっていうことじゃなくて

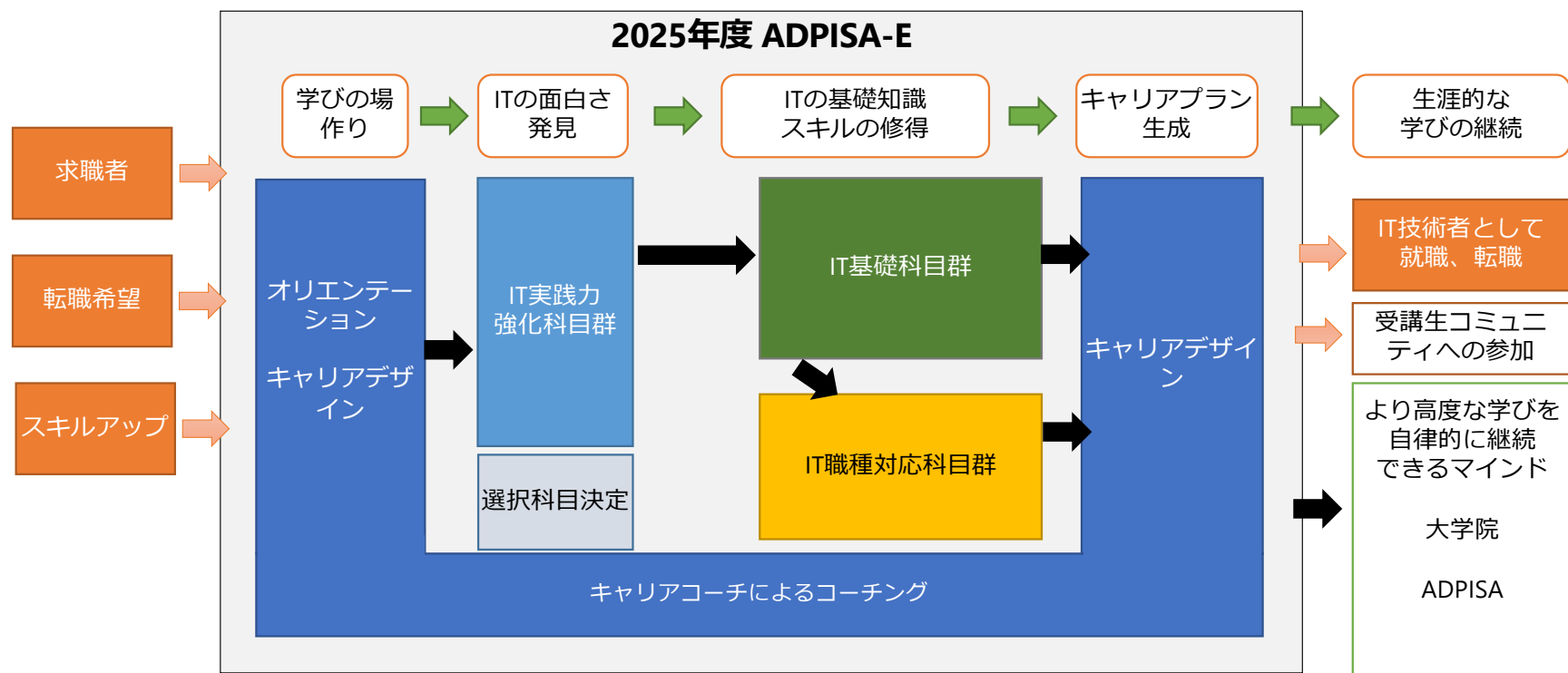
修了生の声 (ADPISA-A相当) https://youtu.be/rPD_P_BR-i0

ADPISA
Aoyama Development
Program for
Information Systems
Architect

おすすめポイント

喧々譁々して 場合によってはそのまま飲みに行く

ADPISA-Eのプログラム



ADPISA-E でのコーチング

■ 目的

- (1) 多様な背景・ニーズに対応し円滑な受講を支援するため
- (2) 修了後のキャリアや学びの継続を実現するため

■ 内容

- キャリアコンサルタントによるオンライン面談
- 1回 60分 x 2回 (希望者は追加で受けることが可能)
平日または土曜日の空き時間に、コーチと日程調整をしてZoomで実施
- 個人のスキルや経験、価値観、興味関心などをもとに、理想的なキャリアの選択
(就職、転職、キャリアチェンジなど) について考えたり、相談したりする

2026年度 ADPISA-E 科目一覧

2026.4.30版

必修/選択	科目名			時間数	対面/遠隔	担当教員
必修	IT実践力強化科目群	304	楽しく学べるプログラミング入門	9	対面	吉田 (大学)
必修	情報システム科目群	301	情報システム (エントリ編)	15	対面	宮川 (大学)
必修		302	情報システム分析基礎	7.5	対面	鎌田 (PJ教員)
必修		303	情報システムのプロジェクトマネジメント	7.5	対面	宮川 (大学)
必修		308	情報科学概論	7.5	対面	宮川 (大学)
必修		IT基礎科目群	306	最新ITトレンドとITビジネス	3	遠隔
必修	情報処理の基礎			12	遠隔	佐藤・杉山 (PJ教員)
必修	ネットワーク基礎とLAN構築実習			15	遠隔	佐藤・杉山 (PJ教員)
必修	ネットワークセキュリティの基礎			7.5	遠隔	佐藤・杉山 (PJ教員)
必修	データベースの基礎			15	遠隔	佐藤・杉山 (PJ教員)
必修	アルゴリズムとプログラミングの基礎			15	遠隔	佐藤・杉山 (PJ教員)
必修	IT職種対応科目群	307	職種対応科目の受け方	3	遠隔	居駒 (大学)
選択必修			Webデザイナー	10	遠隔	佐藤・杉山 (PJ教員)
選択必修			SE		遠隔	佐藤・杉山 (PJ教員)
選択必修			クラウドサーバー管理者		遠隔	佐藤・杉山 (PJ教員)
必修	キャリアデザイン科目群	305	キャリアデザイン	9	対面	山口 (PJ教員)
			必修合計	136.0		

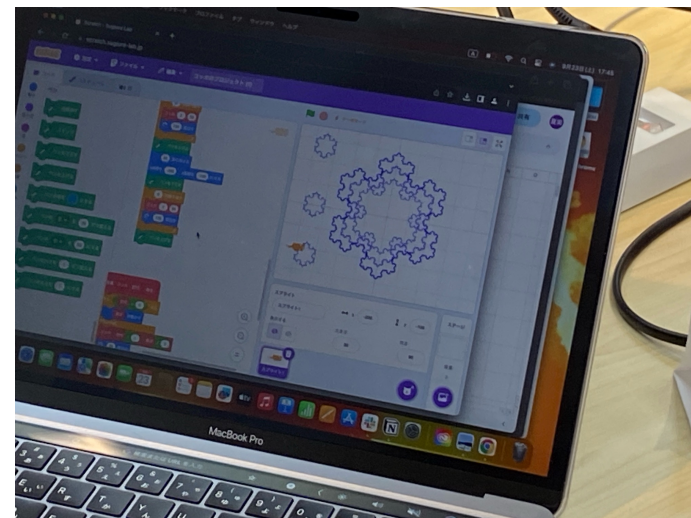
楽しく学べるプログラミング入門

- 背景

- ITの初心者がいきなり「情報処理の基礎」を学ぶと拒否反応が起こりがちなため、楽しく学ぶことを目標とした科目を設置

- 科目の内容

- Webブラウザ上で動作するブロックプログラミング環境を用いてプログラミングを体験
- プログラミングで作成した模様をミシンで布に刺繍



2026年度 ADPISA-E スケジュール (仮)

2026.4.30版

講義日	曜日	場所						
			1限	2限	3限	4限	5限	6限
			10:00-11:00	11:10-12:10	13:00-14:00	14:10-15:10	15:20-16:20	16:30-17:30
2026/9/5	(土)	青山キャンパス			キックオフ (職種対応科目解説含む)			
2026/9/12	(土)	青山キャンパス	301	情報システム (エントリ編)				
2026/9/19	(土)	青山キャンパス	301	情報システム (エントリ編)				
2026/9/26	(土)	青山キャンパス	303	情報システムのプロジェクトマネジメント				
2026/10/3	(土)	青山キャンパス	308	情報科学概論				
2026/10/10	(土)	青山キャンパス	306/304	最新ITトレンドとITビジネス	楽しく学べるプログラミング入門			
2026/10/17	(土)	青山キャンパス	305/304	キャリアデザイン	楽しく学べるプログラミング入門			
2026/10/24	(土)		306/305	情報処理の基礎			キャリアデザイン	
2026/10/31	(土)		306/305	情報処理の基礎			キャリアデザイン	
2026/11/7	(土)		306	アルゴリズムとプログラミングの基礎				
2026/11/14	(土)		306	アルゴリズムとプログラミングの基礎				
2026/11/21	(土)	青山キャンパス	302	情報システム分析基礎				
2026/11/28	(土)		306	データベースの基礎				
2026/12/5	(土)		306	データベースの基礎				
2026/12/12	(土)		306	ネットワーク基礎とLAN構築演習 (U)				
2026/12/19	(土)	青山キャンパス	307	IT職種対応科目の受け方	IT職種対応について個別面談 (クラスごと)			
2026/12/26	(土)			休み				
2027/1/2	(土)			休み				
2027/1/9	(土)		306	ネットワーク基礎とLAN構築演習 (U)				
2027/1/16	(土)		306	ネットワークセキュリティ (U)				
2027/1/23	(土)		307	IT職種対応 (U)				
2027/1/30	(土)		307	IT職種対応 (U)				
2027/2/6	(土)			休み				
2027/2/13	(土)	青山キャンパス		修了式				
2027/2/20	(土)			予備				

ADPISA-E 募集要項（1）

募集人員

60名（2/3以上を女性とする）（定員を超える場合には選考を行います。）

開講期間（仮日程）

2026年9月12日（土）～2027年1月30日（土）

（9/5にキックオフ、2/13に修了式を行います）

履修証明書

本プログラムは、青山学院大学履修証明制度に対応しています。修了要件を満たした方には、学校教育基本法に基づく履修証明制度により履修証明書が交付されます。

ADPISA-E 募集要項（2）

出願資格

- ・ 高校卒業以上（資格認定含む）、かつ就労経験のある方

出願書類

受講申込書（学歴、職歴、志望動機）

出願手続き及び期間

2026 年6月ごろ 受け付け開始

選考結果通知

申込書提出後、おおむね 2 日以内

選考基準

受講申込書の内容により、以下の項目に当てはまる方を優先して選考します。

（優先度の高い順）

- ・ ITの基礎を学んだことがないが、ITスキルの習得が求められている方
- ・ 自律的な働き方や学びを継続したいと考えている方

単科受講について

□ 単科目受講が可能

- 対象科目：ADPISA-H, Mの科目 ただし例外あり
 - ・ 102（実践研究）, 198（選択科目群）, 298（選択科目群）は対象外
 - ・ 104（プログラムマネジメント）は受講の前提条件あり（シラバス参照）
- 料金は6万円/1科目（時間数によらず、定額）
 - ・ ADPISA修了生は3万円/1科目で単科受講可能
- 特典
 - ・ 2科目以上受講する受講生には、Udemyアカウントを発行
 - ・ 該当者はUdemy Businessの講座を11/22まで受け放題
- 科目ごとに定員あり
 - ・ 科目ごとの定員を超えた場合は抽選:受講可否は5/2に連絡
 - ・ 定員に満たない場合5/2以降追加募集を行う（先着順）
- 履修証明プログラムではなく、教育訓練給付金の支給対象外

修了生の声 (ADPISA-E) <https://youtu.be/50Te1ImX0AQ>

受講しようと思ったきっかけ



転職も視野に入れて考えていまして

よくある質問と答え

よくある質問と答え（1）

Q 受講生の平均年齢は何歳ぐらいですか？

A 40代半ばぐらいです

Q やむをえず欠席の場合のサポートはありますか？

A キャンパスでの講義は出席が前提ですが、緊急でやむを得ない事情による欠席の場合、授業を録画し、視聴していただくことを検討しています

Q これまでの就業経験で受講できるのか、よくわかりません

A 説明会で質問してください

また、メールでのお問い合わせにも対応いたします

よくある質問と答え（2）

Q 説明会に参加できなくても、申込できますか？

A できます。募集要項、説明資料はよくお読みください

Q 倍率はどのくらいですか？

A （口頭で回答します）

Q 法人申し込みの場合、請求書の発行は可能ですか？

A 可能です

応募に関する注意事項

- 受講申込フォームは履歴書と同じです。記入項目を正確に記入してください
- 最終学歴は学校名と学部・学科名です。高卒の場合は高校の名前を書いてください
- 受講の動機は200文字以上書いてください
- ADPISA-A 受講申込書はこちら

<https://forms.gle/kSfbxkwQUemaPa6T7>

ADPISA-A 受講申込書





青山学院大学

社会情報学部附置リエゾンラボ
青山・情報システムアーキテクト育成プログラム